

ワークショップ アートと観光／まちづくり ～新潟・京都の事例から～

2024年2月20日（火） 13:30～16:00

@立命館大学衣笠キャンパス存心館ZS203

【企画趣旨】

本ワークショップでは、近年国内外で注目が集まっているアートと観光／まちづくりの関係性に焦点を当てます。

ここで想定しうるアートとは、パブリックアート、ストリートアート、ソーシャル・エンゲージド・アートなど都市空間でアーティストが制作するアート作品・プロジェクトのみならず、広く市民による表現活動やプロジェクトをも含みます。特に持続可能なかたちでの観光／まちづくりが注目されている今日の関心から考えるならば、地域の資源を利活用しながらアーティストや市民が取り組む表現活動がそうした観光／まちづくりといかに関係しているのかを理解することが重要と思われます。

本ワークショップでは、新潟、京都においてアート、まちづくりの分野でご活躍されている方々を招聘し、具体的な活動内容と今後の課題についてご講演いただきます。

【登壇者】

北 雄介氏 長岡造形大学造形学部建築・環境デザイン学科 准教授

1982年、兵庫県生まれ。2012年、京都大学大学院にて博士（工学）取得。2019年より現職。著書に『街歩きと都市の様相－空間体験の全体性を読み解く』（2023）。専門は都市の様相論、フィールドワーク、デザインプロセス論。

谷 亮治氏 京都市まちづくりアドバイザー

1980年、大阪生まれ。博士（社会学）。京都市まちづくりアドバイザー。大学在学中より住民参加のまちづくりの実践と研究に携わり、2011年より現職。代表作に『純粹でポップな限界のまちづくり－モテるまちづくり2』（まち飯叢書、2017）。

司会進行：住田翔子（立命館大学）

【主催／問合せ先】

立命館大学国際言語文化研究所・重点研究プロジェクトA2

『認知と表現をめぐる包括的研究プロジェクト（歴史と表象研究セクション）』

E-mail : rekishi.hyosho@gmail.com